

岩崎 純一 著

『岩崎純一全集』

第七十卷 「芸術、文化、言語、文学（一の序）」

芸術、文化の序説、
総記

編纂、監修 岩崎純一学術研究所 『岩崎純一全集』編纂局

巻頭言

本巻は、『岩崎純一全集』の第七十巻を成し、岩崎の言語の著作物のうち、芸術、文化に関する全般的述作を収める。

第九編 著作権者が岩崎純一であるもの

目次

巻頭言

第一編 〇歳～十九歳

第二編 二十歳～二十九歳

作曲・音楽・音声等

知覚・共感覚

知覚・共感覚関連リンク（交流会ご参加者様のサイトを含む）

芸術・美学上の試み（アーティスト様とのコラボレーションなど）

その他の学術・芸術上の試み

好きな物事・趣味

第三編 三十歳～三十九歳

『作品目録及び今後の予定』

第四編 四十歳～四十九歳

第五編 五十歳～五十九歳

第六編 六十歳～六十九歳

第七編 七十歳以降

第八編 著作者の一部および著作権者が岩崎純一であるもの

第二編 二十歳〜二十九歳

作曲・音楽・音声等

二〇〇四年一月十日 起筆

二〇〇四年四月二十四日 公開

二〇一七年七月二十四日 最終更新

現在は本業ではありませんが、フリーの兼業作曲家（作曲アーティスト）として作曲活動もおこなっております。音楽レーベル名としては「IJART MUSIC」を使用しています。

私の持つ共感覚・絶対音感の関連での作曲・編曲活動が多くなっています。楽曲をダウンロード購入していただけるほか、その他の作曲・編曲のご依頼も受け付けております。

ピアノなどの一部の鍵盤楽器のほかは、DAW 環境による制作が中心です。純芸術音楽として交響曲、交響詩、協奏曲、和楽器曲などを作曲しており、バレエ音楽は、国民文化祭や日本庭園・バレエフェスティバルなどで様々にバレリーナの編成を変えて上演されています。保育園園歌や演歌の作曲のほか、商業音楽（メタバース・SNS コミュニティサイトの音楽・効果音コンテンツなど）の制作もおこなっております。

音楽の作風は、調性基調曲も調性破壊曲もありますが、全体とし

て日本的かつ象徴派的・唯美的だと言われております。共感覚や精神疾患を抱える方々の体験も作曲に取り入れるなど、全知覚的な総合芸術としての音楽も志向し、世界の民俗音楽や寺院の鐘の音、声明（しょうみょう）、鳥の鳴き声なども作曲の主題としております。作曲・編曲のほか、音に関する共感覚や絶対音感の検証実験への参加・協力、音楽雑誌への寄稿などもおこなっております。また、変わったところでは、知覚・共感覚との関連で「超音波知覚」についても物理学的・音声学的に関心があり、「超音波知覚者コミュニティ東京」なるミニサークルも立ち上げています。

● 作曲・音楽のページ

IJART MUSIC

- 楽曲の購入・使用のご要望、作曲・編曲のご依頼について
- 作曲した楽曲一覧・試聴はこちら
- 過去の楽曲提供歴
- 交響曲、協奏曲、保育園歌など芸術音楽の作曲
- 自主制作 CD の販売
- ウェブサイト BGM、映像音楽など音楽コンテンツの作曲
- 総合芸術的な活動（バレエ音楽、映画音楽など）
- ネットコンテンツに音楽提供
- 伝統和歌の会「余情会」、日本の遊びを継承する「糸姫会」などに

和楽器音楽提供

バレエ公演

※ 公演リーフレットより



知覚・共感覚

二〇〇五年三月八日 起筆

二〇〇五年三月十五日 公開

二〇一七年三月十三日 最終更新

(二〇一八年七月十四日追記：現在、岩崎の旧サイトの内容は『全集』に収録。)

知覚・共感覚の研究

私は幼少期より、共感覚・絶対音感・ミラータッチ共感覚・閃輝暗点・不思議の国のアリス症候群・直観像記憶など、様々な感覚を持って生活しています。

これらは、日本や欧米の生理学・心理学・神経科学分野などで通用する専門用語で、実在もほとんど検証済みとなり、昨今はそのメカニズムの研究のほうが目ざされ始めています。

私としては、「多くの太古人類や現在までの動物が当たり前のようには有していた（いる）感覚能力である可能性がある」との考えを持つています。

私の共感覚の具体例は、「文字や数字に色が見える」、「音に色が見える」、「景色に色や音を感じる」、「人に色が見える」、「人や物体を目視すると触覚が生じる（ミラータッチ共感覚）」、「匂いや味に色や形がある」、「衣服を着た状態の女性の共感覚色を見ると、性周期における位置（排卵や生理やその間期）が察知できることがある」などです。

最後の感覚についても、性周期の「色が聞こえ」たり「音が見え」たりして「分かる」という点で、「共感覚」と言えることになります。男児には保持者が多く、成人男性にはほとんどいないようです。

これらの自分の感覚について、色々な活動をしています。著書（以下）、学会・大学での講演活動、学者への研究協力、実験への参加、大学招聘講師の担当、テレビ局や雑誌からの取材、学術・芸術関連雑誌の記事の執筆、看護・医療従事者への情報提供、各専門家との対談などです。

最後の感覚については、神社の巫女・寺社関係の女性・旧皇族の女性・農家の女性・助産婦など、昔の日本人男性の実像を知る多くの女性の方々と交流し、話をうかがう中で、「太古男性にとってはありふれた能力であった」との視点を持つに至り、医療関係者などの専門家にも報告し、研究を進めています。

また、変わったところでは、知覚・共感覚との関連で、自分の「超音波知覚」についても物理学的・音声学的に関心があり、「超音波知覚者コミュニティ東京」なるミニサークルも立ち上げています。

● 知覚・共感覚のページ

● 岩崎純一の共感覚データベース

岩崎純一の
共感覚記憶データベース

岩崎純一の共感覚データベース（脳内デパート版） 岩崎純一の共感覚データベース（3D映像操作版）

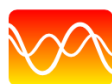
- 共感覚関連の研究会・講義テキスト
- 知覚・共感覚に関する著書（電子書籍版あり）
- 『音に色が見える世界 「共感覚」とは何か』（PHP 新書）
- 『私には女性の排卵が見える 共感覚者の不思議な世界』（幻冬舎 新書）

● 日本共感覚研究会（旧 日本共感覚関連動向調査会）

日本共感覚研究会

…「共感覚」をめぐる日本社会の実態の調査・追跡活動。

● 超音波知覚者コミュニティ東京



超音波知覚者コミュニティ東京
COPULASA-Tokyo

超音波装置探索フィールドワーク、超音波知覚の検証
聴覚・共感覚の研究、コウモリなど動物の超音波研究

・超音波知覚者による都内の超音波発生スポットの報告と、コウモリの発する超音波の研究のご同行などによるスポットの現地調査。

私は、共感覚（英：Synaesthesia、米：Synesthesia）と呼ばれる感覚を持っています。また、昔ほどではないですが、共感覚のほか以下のような知覚様態や症状も持っています。

このサイトでは、これら共感覚をはじめとする私の様々な知覚の具体例をご覧いただけます。

（元々このサイトは、共感覚をメインの話題として開設しました。）

- ◆ 共感覚・・・現在も保持。
- ◆ 直観像記憶・・・一部の物事や学問分野に対しては保持。
- ◆ 不思議の国のアリス症候群・・・幼少期の入眠時などに頻繁に体

験。現在も仕事で疲れたときなどに体験。

- ◆ 絶対音感・・・現在も保持。
- ◆ 閃輝暗点・偏頭痛・・・現在はかなり体調が悪いときのみ体験。
- ◆ Highly sensitive person (HSP)・・・知人・友人・医師・専門家など第三者から私がこれに該当するだろうとの指摘があった。いわば「極度の敏感人間」のこと。

◆ 上記の私の知覚様態・症状の詳しい一覧表を以下のページに掲載しています。

● 私の知覚世界全般の解説とサイトご訪問者の統計
私の知覚世界（一） 私の知覚世界（二）

◆ 私に限らず、共感覚者が一般に保持しやすい知覚様態・症状のリストを以下のページにまとめました。（上記のページ内のサイトご訪問者の統計から、特に共感覚者に見られる知覚様態・症状を抜き出したものです。）

● 共感覚に関連する知覚様態・症状の一覧

これらの話題について、サイトご訪問者と座談会などもしてきました。また、私の著書も出版されていますので、ご参照下さい。

【二〇一五年新設】

★ 「脳内デパート版」のほうは、サブタイトルに「私が共感覚を使

岩崎純一の 共感覚記憶データベース

って記憶・知覚・認知・認識・思考している物事の一覧」と題して、まだサイト内に具体例（ページ・ファイル）を掲載していないものも挙げています。

岩崎純一の共感覚データベース

岩崎純一の共感覚データベース（脳内デパート版） 岩崎純一の共感覚データベース（3D映像操作版）

（そのほか、詳しくは私の共感覚などの変遷や共感覚者としての活動・共感覚研究（いずれも活動総覧内）などもご覧下さい。）
（ちなみに、「珍しい知覚」という言い方や考え方は、自分で用いているのではなく、私の共感覚を研究して下さっている学者・研究者・学生の皆様が、論文などで便宜的に用いらつしやるものだと言えます。私の考えは、どちらかと言うと、共感覚は今でも子供や

世界の先住民族においては珍しくないだろうというものです。）

私の基本的な共感覚を列挙しておきます。

- 文字（かな・漢字・アルファベット・数字）や形（知らない文字・凶形・風景）を色・音・におい・触り心地でも感覚・記憶している。
- 音（音楽から鳥の鳴き声などの自然音まで）を色（形）・におい・味・触り心地でも感覚・記憶している。
- 色々な物事を共感覚で知覚・認知・認識・記憶している。
- その他、色（形）・音・におい・味・触り心地（形）のそれぞれが、必ずしも視覚・聴覚・嗅覚・味覚・触覚（体性感覚）に対応しない場合がある。

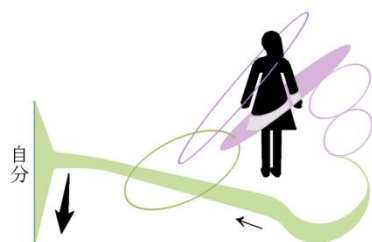
（例・色を体性感覚で感じる、音や形を嗅覚で感じる、味や触り心地を視覚で感じる、においの音を視覚や味覚で感じる、女性の排卵期の色を聴覚で感じる、など。）

●共感覚の他にも、絶対音感・ミラータッチ共感覚・閃輝暗点・不思議の国のアリス症候群・直観像記憶などを持っている。（これらは全て、既存の学術用語・学術概念であり、オカルト科学ではございません。）

検証実験の提案

著書からの抜粋

優憂欲谷
偽為欧区
借昔欠
信言闇音
体本閥伐
付寸閣各
人門



知覚・共感覚関連リンク（交流会）参加者様のサイトを含む）

二〇〇五年三月八日 起筆

二〇〇五年三月十五日 公開
二〇一七年六月二十四日 最終更新

■テーマごとにリンクを分類しています。

◆以下にリンクしている大学の研究室などの共感覚関連の研究・実験に協力させていただいており、活動総覧に掲載しています。

- ▼岩崎純一のウェブサイト内の女性専用スペース
- ▼日本の共感覚研究動向（主に生理学的定義の「共感覚」の語を用いる共感覚研究者・学識者）
- ▼日本の共感覚研究動向（人文学的観点から「共感覚」の語を用いる共感覚研究者・学識者）
- ▼日本の共感覚者有志コミュニティなど
- ▼日本の共感覚者の個人サイト
- ▼最近の人文系共感覚関連書籍
- ▼用語集サイト
- ▼メディア
- ▼海外の共感覚サイト
- ▼超音波知覚関連サイト

岩崎純一のウェブサイト内の女性専用スペース

● 岩崎純一のウェブサイト 女性専用スペース

岩崎純一のウェブサイト
女性専用スペース
Women Only

・・・私がご相談を受けて交流してきた、精神・身体症状や共感覚、その他の特殊知覚・症状を持つ女性の皆様に、私のサイト内の女性専用スペースの管理・運営をしていただいております。また、これらの女性の皆様が入居者の多くを占める、シェアハウス型の女性寮も紹介されています。私も寮を支援しています。女性に特有の症状・知覚については、女性スタッフおよび寮生に解説をお願いします。

← ● 「精神・身体症状、共感覚、その他の特殊知覚・症状の解説の分担などについて」を参照。

日本の共感覚研究動向（主に生理学的定義の「共感覚」の語を用い

る共感覚研究者・学識者。敬称略。）

● 東京大学大学院人文社会系研究科（文学部）心理学研究室（統合的認知研究グループ）

● 東京大学大学院工学系研究科電気系工学専攻融合情報学コース
峯松研究室・・・私の著書を講義テキストとして使用・引用して下さった。

● 関西学院大学理工学部人間システム工学科長田研究室

● 日本質的心理学会・・・過去に私が学会講演をおこなった。

● 茂木健一郎・・・テレビなどで「共感覚」を平易に説明されている。拙著の推薦文をご執筆下さった。

● Dan's Lab at Chuo University（中央大学 檀研究室の「非」公式ページ）

● 多感覚研究会

● 表象文化論学会

● 武藤彩加（言語学・日本語教育）

● 電気通信大学電気通信学部人間コミュニケーション学科・専攻坂本真樹研究室

● 山田仁子准教授（徳島大）

● 日本感覚統合学会・・・ここで言う「感覚統合」とは「感覚統合療法」のそれであって、いわゆる「共感覚」とは限らないことに注意。

● 共感覚判定テスト（筑波大学、会津大学）・・・サイトでデータ

募集。筑波大学 CAVE Lab. (ビジュアルサイエンス研究室)、会津大学 コンピュータ理工学部数理情報科学講座などによる。

●色字者判定テスト(筑波大学、会津大学)・・・サイトでデータ募集。筑波大学 CAVE Lab. (ビジュアルサイエンス研究室)、会津大学 コンピュータ理工学部数理情報科学講座などによる。

●SYNESTHESIA 共感覚テスト(会津大学)・・・サイトでデータ募集。会津大学の研究グループによるものだが、現在は放置状態となっている模様。

●色聴者判定テスト(筑波大学、会津大学)・・・サイトでデータ募集。篠原照樹氏による。

日本の共感覚研究動向(人文学的観点から「共感覚」の語を用いる共感覚研究者・学識者。敬称略。)

●私自身(拙著などを)参照下さい。

●過去の日本人など(拙著や当サイトにて紹介しておりますので、)参照下さい。

日本の共感覚者有志コミュニティなど

●共感覚コミュニティ・・・mixi。参加する共感覚者数は日本最多。私も参加。

●共感覚者の集い bot・・・共感覚者の集い bot。

●共感覚保持宣言同盟・・・2007年以降、放置の模様。

●共感覚自然感知研究会(閉鎖されました)・・・共感覚による地震察知情報などの交換。

mixi ページ
mixi コミュニティ

●日本共感覚協会(閉鎖されました)・・・共感覚に関する遺伝子解析目的のため500人程度の被験者を募集中。私も参加。

●N2氏の共感覚サイト・・・閉鎖されました。

●虹色協奏曲 BBS・・・閉鎖されました。

日本の共感覚者の個人サイト

●蝶瑠璃の共感覚的思考・Synesthesia thinking・・・共感覚者の蝶瑠璃さんのサイト。共感覚に関する持論に共感しました。

童話や神話をテーマにした装飾的なイラストのサイト

Arcadia.art.com も素晴らしいです。

●共感覚 明晰夢 不思議の国のアリス症候群(AIWS) 遠森慶のころのなか・・・共感覚者の遠森慶さんのサイト。共感覚・明晰夢・不思議の国のアリス症候群(AIWS)・鉄道・言語・民俗学などがテーマのイラストを描いていらっしやいます。(著書もあります)

●遠森慶ギャラリー別館・・・共感覚者の遠森慶さんのサイト。同

上。

● 共感覚・synesthesia・文字に色が見える世界・・・共感覚者のSophiaさんのサイト。拙著を紹介して下さっています。共感覚を丁寧に的確に説明しようとする真摯な姿勢が素晴らしいと思っています。

● く青空羽歩く世界でも稀な芸人でアーティストの共感覚者Official Blog・・・共感覚者で芸人の青空羽歩さんのサイト。このスタイルは、世界でも稀どころか唯一無二だと思いますので、応援しています。

● ゆこちあーと工房・・・共感覚者・アーティストのゆこちあさんのサイト。「共感覚について」の各ページは、一見するといわゆる昨今のスピリチュアル用語による説明に思えますが、全てを読むと、共感覚であることは確実に分かります。共感覚者は精神科や心療内科を勧められることが今もありますが、ゆこちあさんも心療内科を勧められて悩まれた経験をお持ちです。

● 水晶と月の家・・・共感覚者の天月翔子さんのオリジナル創作サイト。小説・イラスト・ゲーム用素材など。

● seek for sounds, step into forms...・・・共感覚者の178773さん

のブログ。共感覚についての思索など。

● NIKI ANDO NIKI WEB・・・アスペルガー症候群・共感覚者・アーティストの安藤ニキさんのサイト。私は昔から、陰鬱で象徴主義的・耽美的な絵画が好きですので、こういった画風は十分に好みの範囲内です。

● Erode・・・共感覚者の英里さんのサイト。【共感覚】「色聴」と「音視」って逆じゃない？についてご質問を頂きました。私からの回答は、岩崎純一が答える「共感覚Q&A」のページにあります。この件については、まさに英里さんのおっしゃる通りだと思います。

最近の人文系共感覚関連書籍

● 『共感覚の世界観―交流する感覚の冒険』原田 武
用語集サイト

● 進化心理学・人間行動生態学 進化研究と社会 用語集

● 共感覚現象
メディアア

● TOKYO MX「ガリレオチャンネル」の「共感覚のミステリー音
や文字に色を感じる?」(ワック株式会社制作)

・・・私も出演予定でしたが、諸事情により出ていません。せっかくご覧になった方、申し訳ございません。
海外の共感覚サイト

- Mixed Signals - synesthesia online・・・閉鎖されました。
- synaesthete.com
- SYNESTHESIE.info
- SYNESTHESIE
- synaesthesia.com
- The Synesthesia Battery・・・閉鎖されました。
- American Synesthesia Association
- UK Synaesthesia Association
- DanielTammet.net

超音波知覚関連サイト

- 東京タヌキ探検隊！
- 東京コウモリ探検隊！
- いきもの通信

・・・タヌキ・コウモリの在野研究者・探検隊「隊長」の宮本拓海氏のサイト。宮本氏は、超音波を可聴音に変換する機器「バットデテクター」を用いてコウモリの発する超音波をとらえる研究などをきっかけに、街中の人工の超音波発生装置の現状も研究されるに

至り、超音波知覚者コミュニティ東京に貴重な情報を提供下さっています。

芸術・美学上の試み(アーティスト様とのコラボレーションなど)

- 二〇〇七年九月五日 起筆
- 二〇〇七年九月八日 公開
- 二〇一七年十月九日 最終更新
- (二〇一八年七月十四日追記：現在、岩崎の旧サイトの内容は『全集』に収録。)

コラボレーション芸術を掲載しています。

音楽作品は、以下のページからもリンクしています。
作曲・音楽

IJ ART MUSIC

『絵画を理解するための三つの契機』 二〇一四

コラボアーティスト様：岡崎莉望様



アーティスト、岡崎莉望様とのコラボレーション。岡崎莉望様がご提供下さったこの絵画を私が解釈する形で作曲。

自己以前（胎内）、自己（現実世界）、自己以後（彼岸）の三つの部分から成る。彼岸に向かって、回転しながら落ちてゆき、還ってゆくための青い螺旋階段。

生きるとは、どういうことなのか。テンポの遅い彼岸と、テンポの速い現実世界とは、順序が逆転している。自己が自己として苦しむ現実世界が最後を飾る。

MP3で聴く

『絵画を理解するための三つの契機』

耽美的恋愛歌会 「新水無瀬恋十五首歌合」 二〇一一

コラボ歌人様…袴ちの子様、青柳香織様

特設ページ

●YouTubeでも紹介。

共感覚による歌会 「共感覚歌合」 二〇一一

コラボ歌人様…袴ちの子様

特設ページ

交響組曲 『月ノ巡リ』 二〇一〇年々作曲継続中

コラボモデル様…綾乃様、Yuka様、吉川りせ様、ポチ子様



特設ページ

交響組曲 『月ノ巡リ』

『花・共感覚者五十人による』 二〇〇九

コラボ共感覚者様…下記ページの五十名

特設ページ

『花・共感覚者五十人による』

『共感覚幻想曲』 二〇〇八年

コラボモデル様…女性一名

女性モデル様にご協力・ご同行いただき、公園にて、自分自身の共感覚・心象風景を元にしてスケッチ・作曲。

「幻想曲」の項に掲載。

『共感覚幻想曲』



その他の学術・芸術上の試み

二〇〇七年九月五日 起筆

二〇〇七年九月八日 公開

二〇一七年十月九日 最終更新

(二〇一八年七月十四日追記…現在、岩崎の旧サイトの内容は『全集』に収録。)

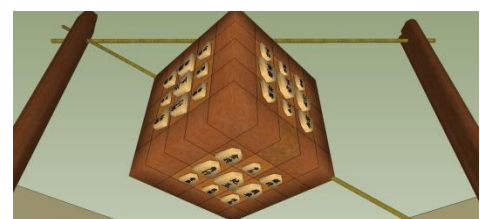
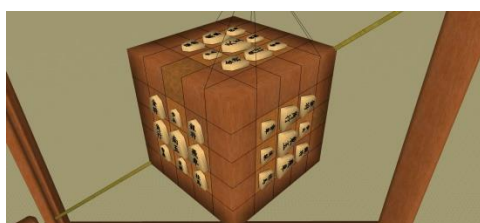
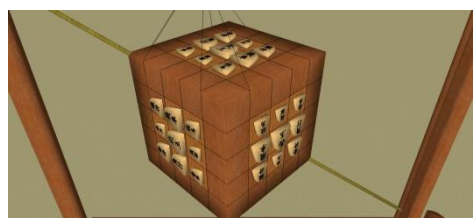
アーティスト様などとのコラボレーション

アーテイスト様などとのコラボレーションのページ

「六方将棋」試案

■立方体の六面を用いて六人で行う将棋の試案。ほぼ完成してはいますが、もう少しルール改定する予定です。（将棋は、昔将棋クラブなどで指し、コンピュータ将棋についても、十代の時に指した「森田将棋」の時代から関心を持ち続けています。）

『六方将棋解説』（PDFファイル）



●六方将棋 (Sketchfab) の 3D 手動映像。SketchUp で制作。

「日本色彩大年表」（日本的色彩の研究）

■日本の古典を所有する共感覚者（藤山セン様・樋川夜涼様）もご参加下さっている試み。私が『音に色が見える世界』で論じた「上古代日本人の色彩感覚の共感覚性」の別側面からの証左として用いることができるのも、興味深いと思う。

自詠和歌・歌会・歌合

■和歌に関する活動です。リンク先が特設ページです。

岩崎式日本語

■私が制作した芸術言語です。リンク先が特設ページです。

仮想御殿「武蔵幻想邸」

■仮想御殿です。リンク先が特設ページです。

作曲・音楽

■以下の試みが特徴的です。

音楽学・音楽美学上の試みや、特殊知覚・共感覚を用いた音楽的な試み

岩崎純一の共感覚記憶データベース

■上のリンク先が特設ページです。特に、動画やコンピュータ・グラフィックスの試みが特徴的です。下のリンクは動画ファイルです。数字についての共感覚「文字よ、立て。」についての共感覚「文字が寝そべる。」についての共感覚 円周率についての共感覚 音階についての共感覚

好きな物事・趣味

二〇一一年十月十五日 起筆

二〇一一年十月十七日 公開

二〇一七年十月一日 更新

（二〇一八年七月十四日追記：現在、岩崎の旧サイトの内容は『全集』に収録。）

二〇一九年四月二十日 最終更新

私の好きな物事・趣味を書くコーナー。

■座右の銘

■趣味全般

■好きな書籍・文芸

■好きな音楽

■好きな絵画

■好きなアウトサイダー・アート（アール・ブリュット）

■好きな場所

■好きな食べ物

■座右の銘

● 「日本的・東洋の実存」

（「日本の実存」・「東洋の実存」の語は、著書や論文のタイトルには見られないが、書中で和辻哲郎、九鬼周造、井筒俊彦らが用いている。）

● 「超然主義」

（「超然内閣」で有名になった主義主張だが、ここでは、「自分の人生が現在の日本の政治状況から超然としていたい」という意味。）

● 「嗚呼玉杯」の「榮華の巷低く見て」の歌詞

● 「荒城の月」の歌詞

● 藤原定家の日記『明月記』の「紅旗征戎吾が事に非ず」

■ 趣味全般

● 東洋哲学、神道、仏教

（九鬼周造、西田幾多郎、鈴木大拙、久松真一、井筒俊彦、黒田亮、木田元など。サイトの「人物評論」などのページもご覧下さい。）

● 西洋哲学（「生の哲学」く構造主義、ポスト構造主義）

（ニーチェ、キルケゴール、ショーペンハウアー、フッサール、ハイデガー、ベルクソン、ヤスパース、カミュ、フーコー、メルロ＝ポンティ、デリダなど。）

● 精神病理学、社会学、社会科学、宗教学、歴史学

（精神病理学については、精神医学書を読むことと実際の精神障害者との交流の両方がライフワークです。後者については、当サイトのメイン活動の一つで、当サイトを通じて多くの方々との面識を持ち、勉強させていただいています。）

● 自己の人工言語制作とその関連分野

（言語学、日本語学、あらゆる外国語、哲学、論理学、数理論理学、超数学、不完全性定理、不確定性原理、多値論理、矛盾許容論理、直観論理、物理学、量子力学、量子論、宇宙際タイヒミュラー理論・UTeich、ゲーデル、ヒルベルト、ハイゼンベルク、ボーア、ロッサー、チューリング、チャイティン、望月新一など。）

● 宇宙、天体、粒子、地質、気象全般

（素粒子物理学、量子力学、量子論、天文学、地球物理学、地球電磁気学、恒星進化論、超弦理論、大統一理論など。）

● 動植物研究全般

（特に恐竜とキリン。ウサギやハムスターなどの小さな哺乳類、虫、絶滅危惧種。動物の自我・意識。食物連鎖、植生、森林。）

● このサイトの制作、パソコン・コンピューター関連

（各種マークアップ、プログラミングなど。）

● 散歩、ウォーキング

（散歩は周囲の植物や建物を観察しながらゆつくりと歩きますが、ウォーキングのほうは、同行の成人男性が途中で脱落するくらいの速歩きで、運動を兼ねています。）

● 一人旅

（日本庭園、神社仏閣、海、湖、川、滝、図書館、美術館、水族館、植物園、博物館、公園など、一人で色々な所に行きました。特に、東京都内の庭園、植物園はほとんど行きました。）

● 音楽、美術など

（このページの「好きな音楽」、「好きな絵画」の項目をご参照下さい。）

● 和歌詠み

（本格的な古典和歌にあまりに凝ってしまい、和装もせずに歌合などの中世貴族歌人の真似事をしています。）

● 将棋、チェス

（小学生の頃からの長い趣味です。好きな棋士は、三浦弘行九段、藤井猛九段、阿久津主税八段、堀口一史座七段などです。）

● モータースポーツのテレビ観戦、自動車工学、流体力学（F1、Formula E、GP2、旧 CART、旧 IRL、インディカー、チャンプカー、旧フォーミュラ・ニッポン、スーパーフォーミュラ、ル・マン、NASCAR、ダカール・ラリー）

（かなりマニアなのに、未だにテレビ観戦ばかり。最近では、史上初の電気自動車フォーミュラカーレースのフォーミュラEが面白く、F1ドライバーのOBが多い割には、新鮮で手抜きのない完成度に仕上がっているシリーズなので、F1と同じかそれ以上の面白さを感じています。）

● テニス

（中高大とずっとテニスをしていました。中学二年の時、学問や将棋などの沈黙考型の世界に偏って興味のある私の性質を、友人たちからやや心配され、運動部に誘われたことや、元々体を動かして走り回るのは好きだったこと、ただし、心肺持久力タイプではなく短距離走・瞬発力・筋持久力タイプだったことなどもあり、テニス部に入部しました。その頃の憧れはピート・サンprasや松岡修造でした。今人気の錦織圭選手は、もちろんその後に出てきた選手ですが、日本人男子選手が外国人トップ選手と互角に戦える時代が来るとは思ってもいませんでした。松岡修造氏は、今は別のバラエティのジャンルで大人気ですが、これはこれで私もかなり好きです。）

● 大相撲

（八百長問題や横綱の品格問題など、話題に事欠かない角界ですが、今も昔も最も好きな力士、尊敬している力士は、琴ノ若閑（十三代年寄 佐渡ヶ嶽満宗氏）です。二〇〇四年七月場所中日の横綱朝青龍との結びの一番と三日後の平幕玉乃島との一番が、好きな一番です。「死に体」、「かばい手」、「つき手」とは何かを考えさせられました。）

●最近では御無沙汰だが、少年期の趣味だったのが、レゴブロック、ダイヤブロック、折り紙など。

■好きな書籍・文芸

●古典

（主に和歌の書が多いです。）

『新古今和歌集』 後鳥羽院・藤原定家ほか

『長秋詠藻』 藤原俊成

『拾遺愚草』 藤原定家

『草根集』 正徹

『建礼門院右京大夫集』 建礼門院右京大夫

『六百番歌合』 御子左家・六条家ほか

●思想・哲学

（日本思想書・仏教書・「生の哲学」書が多いです。仏教について

は、禅・中観・唯識など原始大乘仏教寄りですが、何でも読みます。）

『音楽の精神からのギリシア悲劇の誕生』、『反時代的考察』、『悦ばしき知識』、『ツアラトウストラはかく語りき』、『善悪の彼岸』、『道徳の系譜』、『力への意志』、『生成の無垢』 ニーチェ

『あれか、これか』、『おそれとおののき』、『反復』、『不安の概念』、『死に至る病』 キルケゴール

『存在と時間』 ハイデガー

『正法眼蔵』 道元

『中論』 龍樹

『成唯識論』 世親・護法・玄奘ほか

『歎異抄』 唯円

『花伝書（風姿花伝）』 世阿弥元清

『「いき」の構造』、『偶然性の問題』、『人間と実存』 九鬼周造

『日本の霊性』、『無心ということ』、『東洋的な見方』、『禅と日本文化』 鈴木大拙

『東洋的無』 久松真一

『意識と本質―精神的東洋を求めて』、『意味の深みへ―東洋哲学の水位』、『意識の形而上学―「大乘起信論」の哲学』 井筒俊彦

『勘の研究』 黒田亮

『風土 人間学的考察』、『倫理学』、『人格と人類性』、『日本精神史研究』、『日本古代文化』、『日本倫理思想史』、『ニイチエ研究』、『ゼエ

レン・キエルケゴール』 和辻哲郎

『共通感覚論』、『共通感覚』（著作集 第一期）、『感性の覚醒』、『哲

学の現在』、『場所トポス』、『共振する世界』 中村雄二郎
『資本論』、『共産党宣言』、『経済学批判』、『経済学批判要綱』、『経済学・哲学草稿』 マルクス
『意識と本質』 井筒俊彦

●言語学・論理学・数学・数理論理学

『言語・思考・現実』 ベンジャミン・L・ウォーフ
『ゲーデル、エッシャー、バッハ ―あるいは不思議の環』 ダグ
ラス・R・ホフスタッター

『言語・思考・現実』 ベンジャミン・L・ウォーフ

●精神病理学

『分裂病と他者』、『自己・あいだ・時間』 木村敏
『孤独』 アンソニー・ストー

●文化人類学・歴史学・自然学・考古学・生物学

『生物の世界』、『人間以前の社会』、『自然学の提唱』、『自然学の展開』、『進化とはなにか』、『ダーウイン論』、『主体性の進化論』 今西錦司

『胎児の世界―人類の生命記憶』、『内臓のはたらきと子どものころ』、『生命形態の自然誌 第一巻 解剖学論集』、『海・呼吸・古代

形象―生命記憶と回想』、『生命形態学序説―根原形象とメタモルフォーゼ』 三木成夫

『文明の生態史観』、『日本人の知恵』、『情報産業論』、『情報の文明学』、『地球時代の日本人』、『女と文明』 梅棹忠夫

●社会学・社会科学

『ソビエト帝国の崩壊』、『新戦争論』、『日本教の社会学』、『日本人の可能性』、『国民のための経済原論I・II』 小室直樹

●小説

（起承転結のない、日本的美意識の描かれた文芸を好みます。）

『抒情歌』、『片腕』、『千羽鶴』 川端康成

『農民芸術概論綱要』、『銀河鉄道の夜』 宮沢賢治

『恋』 塚本邦雄

『金閣寺』 三島由紀夫

『反抗的人間』、『シーシュポスの神話』 カミュ

『ぼくは12歳』 岡真史

●作曲・音楽

『音楽をつくる可能性』 ジョン・ペインター

『音楽する精神』 アンソニー・ストー

『管弦楽法』 エクトル・ベルリオーズ、リヒャルト・シュトラウス

『管弦楽法』 ウオルター・ピストン

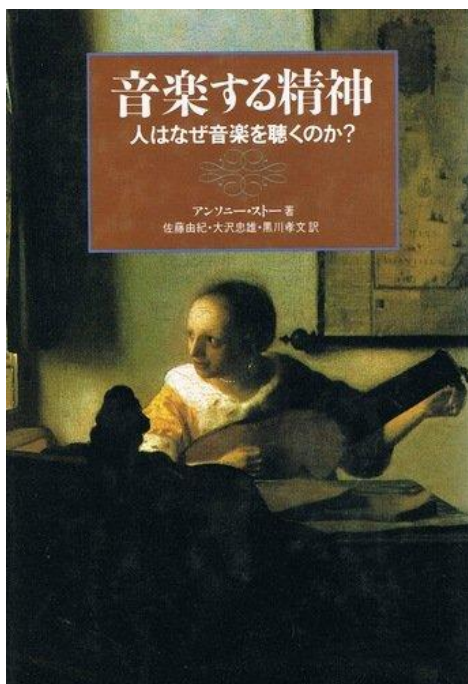
『管絃楽法』 伊福部昭

『日本楽器法』 三木稔

『音楽のリズム構造』 G.W.クーパー、L.B.マイヤー

『精神と音楽の交響』 今道友信

『音楽の不思議』 別宮貞雄



『音楽する精神』 アンソニー・ストー

●美学

『美について』 今道友信

■好きな音楽

●歌謡、フォーク、J-POP

『時代おくれ』 河島英五

『恋の予感』 「あの頃へ」「Friend」 「碧い瞳のエリス」 「プルシアン

ブルーの肖像」 「ワインレッドの心」 安全地帯

「とまどうペリカン」 「心もよう」 井上陽水

「ねえ」 「何も始まらないなら」 国安修二

「君のハートはマリンブルー」 「さよならのオーシャン」 杉山清貴

& オメガトライブ

『SHERRY』 林田健司

『思いつかない夜はないだろう』 「濡れた髪の Lonely」 池田聡

『十六夜物語』 雅夢・三浦和人

『三都物語』 谷村新司

『秋桜』 さだまさし

『落葉』 「踊り子」 村下孝蔵

『雪』 「わかって下さい」 因幡晃

『東京』 矢沢永吉

『雪が解ける頃に』 細坪基佳

『白い冬』 ふきのとう

『夢一夜』 南こうせつ

『加茂の流れに』 かぐや姫

『水に挿した花』 「乱火」 「帰省 ～Never Forget～」 中森明菜 「ジ

プシー」 児島未散

●日本ロック

「ART OF LIFE」「紅」「Crucify My Love」 YOSHIKI・X JAPAN

●演歌

「冬の蝶」「憧れ遊び」「愛しき日々」「遙かな轍」「愛さずにいられない」「恋唄綴り」「さよならだけの人生に」「恋文」「影法師」「波の調べに」「夢の道草」「永遠に―翼をあげよう―」「東京発」「愛が見えますか」「不忍の恋」「男が抱えた寂しさ」「空蟬の家」「三陸海岸」など何でも 堀内孝雄

「蛍の夜」「飢餓海峡」「津軽海峡・冬景色」 石川さゆり

「恋草紙」 香西かおり

「恋は火の舞剣の舞」 坂本冬美

「雪 深深」 藤あや子

●唱歌

「嗚呼玉杯」（旧制第一高等学校寮歌）

「荒城の月」

●童謡

「小犬のプルー」（NHK みんなのうた）

「まっくら森のうた」（NHK みんなのうた）

●クラシック

「涅槃交響曲」「曼荼羅交響曲」 黛敏郎

「交響曲 第五番 第三楽章」 吉松隆

「交響曲 第九番（新世界） 第四楽章」 ドヴォルザーク

「幻想序曲 ロメオとジュリエット」 チャイコフスキー

●フュージョン、ジャズ

“TRUTH” T-SQUARE

“Night birds” Shakatak

“Shadow” Shakatak

●洋楽ムード、歌謡、映画

『II Y A Toujours Du Soleil (with James Last)』 Richard

Clayderman (1990) の曲の全て

“Les Feuilles mortes” (枯葉) chanson

“Romeo and Juliet” (1968年)

●洋楽ロック、ヘヴィメタル

“Prophesy” Judas Priest

“Archetype” Secret Sphere

“Legend” Secret Sphere

“All These Words” Secret Sphere

“Why does Love Have to Change” Night Ranger

など沢山。

■好きな絵画

●陰鬱な色遣いや思想的・東洋趣味的要素の濃い絵画を好みます。ロシア象徴主義、ベルギー象徴主義、フランス象徴主義、世紀末主義、ラファエル前派。

美術館にも稀に行きますが、ラファエル前派を除いては日本にあまり来ない絵ばかりなので、画集やネット美術館で見ることがほとんどです。日本絵画も好きです。

各西洋画家につき、最も好きな一枚を挙げます。（日本ではマニッシュクと思われる画家に、★を付けました。）

I Lock My Door upon Myself 「私は私自身に扉を閉ざす」 フェルナン・クノッップ

The Young Shepherdess 「若い羊飼ひ」 ウィリアム・アドルフ・ブーグロー

Expectations 「期待」 ローレンス・アルマ・タデマ
Vertigo 「めまぐるし」 レオン・スピリアールト

Elysian Fields 「エリュシオンの野」 カルロス・シュヴァーベ
The Buddha 「仏陀」 オダイロン・ルドン

Isle of the Dead 「死の島」 アーノルド・ベックリン
A Japanese imploring a Divinity 「神に願う日本人」 ジャン＝レ

オン・ジエローム

The Dream 「夢」 ピエール・ピュヴィス・ド・シャヴァンヌ
Medusa 「メデューサ」 ジャン・デルヴィル

The Lucifer 「ルシフェル」 フランツ・フォン・シュトゥック
Ophelia 「オフィーリア」 リュシアン・レヴィーユ デュルメル

Helen on the Walls of Troy ギュスターヴ・モロー
★The Lamps ポール・デルヴォー

★Portrait of Natasha Nesterova ミハイル・ヴァシリエヴィチ・ネステロフ

★Domokanovo ヴァレンティン・セローフ
★The Pool 「溜池」 ヴィクトール・ボリソフ ムサトフ

★Lilac 「ライラック」 ミハイル・ヴルーベリ
★Moonlit Night, Winter コンスタンティン・コロヴィン

★Birch Copse イサーク・レヴィタン
★Bather's morning クジマ・ペトロフ ヴオトキン

★In the Water エウゲニー・デ・ブラス (Eugene de Blaas)



Moonlit Night, Winter コンスタンティン・コロヴィン

【画像出典】

Konstantin Korovin (Wikipedia)

■好きなアウトサイダー・アート（アール・ブリュット）

『非現実の王国で』 ヘンリー・ダーガー

（主人公のヴィヴィアン・ガールズたちは、定説のような「少女たち」ではなく、元から「少年たちによる女の子ごっこ」として描かれたとも私は感じた。）

シュヴァルの理想宮 フェルディナン・シュヴァル

（写真でしか見たことがないが、雄大・壮麗で、惹かれるものがある。）

フリードリヒ・シュレーダー・ゾンネンシュタイン
アドルフ・ヴェルフリ

■好きな場所

- 日本庭園、神社仏閣、海、湖、川、滝、図書館、美術館、水族館、植物園、博物館、公園など
- 旧芝離宮恩賜庭園
- 殿ヶ谷庭園
- 板橋区立熱帯環境植物館（一人で五回も行ってしまいました。）
- 政令指定都市になる前の岡山市（私の故郷）
- 東京の主要駅で言うなら、東京駅・池袋駅・上野駅周辺（新宿駅・渋谷駅・品川駅周辺はやや苦手）

■好きな食べ物

● 全般的に和食を好む。

● ネギトロ丼

（ネギトロに使う部位は元々マグロの安い残り物の部位がほとんどだし、最近は気象の変化で漁獲量も変わり、マグロよりもサンマの方が高級魚と化しているので、自分としてはネギトロ丼を沢山食べられて嬉しいのだが、「国産マグロ」と明記されていない激安物のほとんどは海外産アカマンボウなので、気をつけている。しかし、「国

産マグロ」と書いてあっても、怪しいものがある気がする。）

● 麺類（うどん、そば、ラーメンなど）

● スイカ

（嫌いな食べ物は、海外の毒々しい色や味のものやゲテ物以外はありません。）

『作品目録及び今後の予定』

二〇一二年十一月二十九日 起筆、公開

二〇一四年一月五日 最終更新、攔筆

私の『作品目録及び今後の予定』を作成いたしました。全てを載せているわけではないですが、すでにサイトに載せてあるものと、制作計画がある程度決まっているものをリストアップしました。

いわば「私的ポートフォリオ」のようなものです。言語学・人工言語学・精神病理学・論理学・超数学などを含めた、「岩崎式日本語」を主軸とする試みも、大まかですが、第二巻として載せました。

『作品目録及び今後の予定』(PDF)

【二〇一四年一月五日 追記】

再考のため、削除済みです。